

(第3種郵便物認可)

英「EU離脱」多数

英国が欧州連合(EU)からの離脱を選択した。世界経済に衝撃が広がり、国内でも為替相場が影響を受ける中、県内企業からも、円高の進行や欧州の混乱を心配する声が聞かれた。

県内企業影響懸念

円高進行や欧州混乱

地での売値に影響する可能性があると。木内敏之取締役は「早く為替が落ち着いてくれることを願っている」と話した。

欧州の一部の国と取引をする県北地域の製造業者の経営者も「他に離脱しようとする国が出てこないか心配だ」と懸念を示した。

一方、東南アジアなどから部品を輸入する常総市の精密機器卸会社の男性役員(68)は「今回の影響で円高になれば輸入に有利なため、うちとしては悪くない状況だ」と話した。

「現時点ではどの程度の影響があるか予想できない」。柴沼醬油醸造(土浦市)の柴沼秀篤執行役員は、取材に対し不安を口にした。

同社は、英国、フランスなど欧州約10か国にしようゆなどを輸出している。円高が進めば、海外の商社にとっては商品の買い付けにかかる金額が高くなることから、注文量が減る可能性があるとい

う。また、取引先の英国の商社は柴沼醬油の製品をEU各国に販売しており、英国がEUを離脱すれば、EU域内への輸出に関税がかかって販売価格が上昇し、販売量に影響する可能性もあるという。柴沼さんは「今は見守っていくしかない」と話した。

ビールや日本酒を欧州各国に輸出している木内酒造(那珂市)も各国の商社と取引をしており、円高が現